

1)新規採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
パルモディア XR 錠 0.2mg (ペマフィブラート) フィブラート系高脂血症治療剤 薬価:60.00 円/1 錠 興和	<効能効果>高脂血症(家族性を含む) <用法用量>通常、成人には1回0.2mgを1日1回経口投与する。ただし、トリグリセライド高値の程度により、1回0.4mgを1日1回まで増量できる。 <説明文>高脂血症のお薬です。血液中の中性脂肪を減らします。	
コミナティ筋注シリンジ 12歳以上用 (ラクストジナメラン) コロナウイルス(SARS-CoV-2)RNAワクチン ファイザー	<効能効果>SARS-CoV-2による感染症の予防 <用法用量>1回0.3mLを筋肉内に接種する。	

2)仮採用医薬品

なし

3)剤型・規格 変更/追加 医薬品

剤型変更追加・メーカー変更薬	既採用薬	備考
イントラリポス輸液 20%250mL (精製大豆油) 静注用脂肪乳剤 薬価:1,376 円/1 袋 大塚製薬工場	イントラリポス輸液 10%250mL	局所麻酔薬中毒対応用

4)メーカー変更医薬品・後発品変更医薬品

医薬品名	既採用薬	備考
グリセオール注 200mL	グリセレブ配合点滴静注 200mL	※供給停止
オザグレル Na 点滴静注 80mg バッグ「タカタ」	オザグレル Na 点滴静注 80mg バッグ「テルモ」	※2025.3 経過措置
アシクロビル点滴静注液 250mg「日医工」	ゾビラックス点滴静注用 250	
ベンザリン錠 5	ネルボン錠 5mg	
ミルタザピン OD 錠 15mg「DSEP」	レメロン錠 15mg	
パロキセチン錠 10mg「明治」 パロキセチン錠 20mg「明治」	パロキセチン錠 10mg「SPKK」 パロキセチン錠 20mg「SPKK」	
一硝酸イソソルビド錠 20mg「サワイ」	アイトロール錠 20mg	
サルポグレラート塩酸塩錠 100mg「ケミファ」	アンプラーグ錠 100mg	
レベチラセタム錠 250mg「明治」 レベチラセタム錠 500mg「明治」	イーケブラ錠 250mg イーケブラ錠 500mg	

レベチラセタムドライシロップ 50%「明治」	イーケブアドライシロップ 50%	
ベニジピン塩酸塩錠 4mg「NPI」	コニール錠 4	
フルオロメロン点眼液 0.1%「センジュ」	フルメロン点眼液 0.1%	

### 5) 院外限定採用医薬品(剤型追加)

医薬品名	効能・効果	用法・用量
パルタン M 錠 0.125mg (メチルエルゴメトリンマレイン酸塩) 子宮収縮止血剤(麦角アルカロイド) 薬価:10.10 円/1 錠 持田製薬	<効能効果>子宮収縮の促進ならびに子宮出血の予防及び治療の目的で次の場合に使用する。胎盤娩出後、子宮復古不全、流産、人工妊娠中絶 <用法用量>通常成人 1 回 0.125～0.25mg を 1 日 2～4 回経口投与する。なお、症状により適宜増減する。	
ミニリンメルト OD 錠 60 μg (デスマプレニン酢酸塩水和物) 脳下垂体ホルモン剤 薬価:75.70 円/1 錠 キッセイ薬品	<効能効果>中枢性尿崩症 <用法用量>通常、1 回 60～120 μg を 1 日 1～3 回経口投与する。投与量は患者の飲水量、尿量、尿比重、尿浸透圧により適宜増減するが、1 回投与量は 240 μg までとし、1 日投与量は 720 μg を超えないこと。	
ミニリンメルト OD 錠 25 μg 薬価:44.70 円/1 錠	<効能効果>男性における夜間多尿による夜間頻尿 <用法用量>成人男性には、通常、1 日 1 回就寝前に 50 μg を経口投与する。	
ヒルドイドソフト軟膏 0.3% (ヘパリン類似物質) 血行促進・皮膚保湿剤 薬価:18.50 円/1g マルホ	<効能効果>血栓性静脈炎(痔核を含む)、血行障害に基づく疼痛と炎症性疾患(注射後の硬結並びに疼痛)、凍瘡、肥厚性瘢痕・ケロイドの治療と予防、進行性指掌角皮症、皮脂欠乏症、外傷(打撲、捻挫、挫傷)後の腫脹・血腫・腱鞘炎・筋肉痛・関節炎、筋性斜頸(乳児期) <用法用量>ヒルドイドソフト軟膏:通常、1 日 1～数回適量を患部に塗擦又はガーゼ等にてのばして貼付する。ヒルドイドローション:通常、1 日 1～数回適量を患部に塗布する。	
ヒルドイドローション 0.3% 薬価:18.50 円/1g		

医薬品名	備考
エクセグラン散 20%	
ノボラピッド 30 ミックス注 フレックスペン	採用薬からの切り替え
ホスレノール OD 錠 250mg	

### 6) 患者限定採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
カチーフ N 錠 5mg (フィトナジオン) ビタミン K1 製剤 薬価:13.30 円/1 錠 武田薬品	<効能効果>●ビタミン K 欠乏症の予防及び治療:各種薬剤(クマリン系抗凝血薬、サリチル酸、抗生物質など)投与中におこる低プロトロンビン血症、胆道及び胃腸障害に伴うビタミン K の吸収障害、新生児の低プロトロンビン血症、肝障害に伴う低プロトロンビン血症 ●ビタミン K 欠乏が推定される出血 <用法用量>通常成人 1 日 5～15mg、新生児出血の予防には母体に対し 10mg、薬剤投与中におこる低プロトロンビン血症等には 20～50mg を分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。	
リアルダ錠 1200mg (メサラジン腸溶錠) 潰瘍性大腸炎治療剤 薬価:159.90 円/1 錠 持田製薬	<効能効果>潰瘍性大腸炎(重症を除く) <用法用量>通常、成人には 1 日 1 回 2,400mg を食後経口投与する。活動期は、通常、成人には 1 日 1 回 4,800mg を食後経口投与するが、患者の状態により適宜減量する。	

<p>ゴナックス皮下注用 120mg (デガレリクス酢酸塩) 前立腺癌治療剤(GnRH アンタゴニスト) 薬価:22,899 円/1 瓶 フェリング・ファーマ</p>	<p>&lt;効能効果&gt;前立腺癌 &lt;用法用量&gt;通常、成人には、初回は 240mg を 1 カ所あたり 120mg ずつ腹部 2 カ所に皮下投与する。2 回目以降は、初回投与 4 週間後より、維持用量を投与する。4 週間間隔で投与を繰り返す場合は、80mg を維持用量とし、腹部 1 カ所に皮下投与する。12 週間間隔で投与を繰り返す場合は、480mg を維持用量とし、1 カ所あたり 240mg ずつ腹部 2 カ所に皮下投与する。</p>
<p>ダイドロネル錠 200 (エチドロネ酸二ナトリウム) 骨代謝改善剤(ビスホスホネート系) 薬価:262.90 円/錠 住友ファーマ</p>	<p>&lt;効能効果・用法用量&gt;●骨粗鬆症:通常、成人には、200mg を 1 日 1 回、食間に経口投与する。投与期間は 2 週間とする。再投与までの期間は 10~12 週間として、これを 1 クールとして周期的間歇投与を行う。なお、重症の場合(骨塩量の減少の程度が強い患者あるいは骨粗鬆症による安静時自発痛および日常生活の運動時痛が非常に強い患者)には 400mg を 1 日 1 回、食間に経口投与することができる。投与期間は 2 週間とする。再投与までの期間は 10~12 週間として、これを 1 クールとして周期的間歇投与を行う。なお、年齢、症状により適宜増減できるが、1 日 400mg を超えないこと。●下記状態における初期及び進行期の異所性骨化の抑制(脊髄損傷後、股関節形成術後):通常、成人には、800~1000mg を 1 日 1 回、食間に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。●骨ペーজেット病:通常、成人には、200mg を 1 日 1 回、食間に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減できるが、1 日 1000mg を超えないこと。 本剤の吸収をよくするため、服薬前後 2 時間は食物の摂取を避けること。</p>
<p>フィコンパ錠 4mg (ペランパネル水和物) 抗てんかん剤(AMPA 受容体拮抗薬) 薬価:319.70 円/1 錠 エーザイ</p>	<p>&lt;効能効果・用法用量&gt;●てんかん患者の部分発作(二次性全般化発作を含む):[単剤療法]通常、成人及び 4 歳以上の小児には 1 日 1 回 2mg の就寝前経口投与より開始し、その後 2 週間以上の間隔をあけて 2mg ずつ漸増する。維持用量は 1 日 1 回 4~8mg とする。なお、症状により 2 週間以上の間隔をあけて 2mg 以下ずつ適宜増減するが、1 日最高 8mg までとする。[併用療法]通常、成人及び 12 歳以上の小児には 1 日 1 回 2mg の就寝前経口投与より開始し、その後 1 週間以上の間隔をあけて 2mg ずつ漸増する。本剤の代謝を促進する抗てんかん薬を併用しない場合の維持用量は 1 日 1 回 4~8mg、併用する場合の維持用量は 1 日 1 回 8~12mg とする。なお、症状により 1 週間以上の間隔をあけて 2mg 以下ずつ適宜増減するが、1 日最高 12mg までとする。通常、4 歳以上 12 歳未満の小児にはペランパネルとして 1 日 1 回 2mg の就寝前経口投与より開始し、その後 2 週間以上の間隔をあけて 2mg ずつ漸増する。本剤の代謝を促進する抗てんかん薬を併用しない場合の維持用量は 1 日 1 回 4~8mg、併用する場合の維持用量は 1 日 1 回 8~12mg とする。なお、症状により 2 週間以上の間隔をあけて 2mg 以下ずつ適宜増減するが、1 日最高 12mg までとする。●他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の強直間代発作に対する抗てんかん薬との併用療法 :[併用療法]通常、成人及び 12 歳以上の小児には 1 日 1 回 2mg の就寝前経口投与より開始し、その後 1 週間以上の間隔をあけて 2mg ずつ漸増する。本剤の代謝を促進する抗てんかん薬を併用しない場合の維持用量は 1 日 1 回 8mg、併用する場合の維持用量は 1 日 1 回 8~12mg とする。なお、症状により 1 週間以上の間隔をあけて 2mg 以下ずつ適宜増減するが、1 日最高 12mg までとする。</p>
<p>テトラミド錠 10mg (ミアンセリン塩酸塩) 四環系抗うつ剤 薬価:10.10 円/1 錠 オルガン</p>	<p>&lt;効能効果&gt;うつ病・うつ状態 &lt;用法用量&gt;通常成人 1 日 30mg を初期用量とし、1 日 60mg まで増量し、分割経口投与する。また、上記用量は 1 日 1 回夕食後あるいは就寝前に投与できる。なお、年齢、症状により適宜増減する。</p>

医薬品名	備考
オキシコンチン TR 錠 40mg	採用薬からの切り替え
レスタミンコーワ錠 10mg	

## 7) 削除医薬品

医薬品名	備考
フロモックス錠 100mg	同効薬セフゾンカプセル 100mg あり
メイアクト MS 錠 100mg	同効薬セフゾンカプセル 100mg あり
オイラックス H クリーム	同効薬強力レスタミンコーチゾンコーワ軟膏あり
グリセレブ配合点滴静注 200mL	グリセオール注 200mL に変更
オザグレール Na 点滴静注 80mg バッグ「テルモ」	オザグレール Na 点滴静注 80mg バッグ「タカタ」に変更
ゾビラックス点滴静注用 250	アシクロビル点滴静注液 250mg「日医工」に変更
ネルボン錠 5mg	ベンザリン錠 5 に変更
レメロン錠 15mg	ミルタザピン OD 錠 15mg「DSEP」に変更
パロキセチン錠 10mg「SPKK」	パロキセチン錠 10mg「明治」に変更
パロキセチン錠 20mg「SPKK」	パロキセチン錠 20mg「明治」に変更
アイトロール錠 20mg	一硝酸イソソルビド錠 20mg「サワイ」に変更
アンブラグ錠 100mg	サルボグレラート塩酸塩錠 100mg「ケミファ」に変更
イーケプラ錠 250mg	レベチラセタム錠 250mg「明治」に変更
イーケプラ錠 500mg	レベチラセタム錠 500mg「明治」に変更
イーケプラドライシロップ 50%	レベチラセタムドライシロップ 50%「明治」に変更
コニール錠 4	ベニジピン塩酸塩錠 4mg「NPI」に変更
フルメロン点眼液 0.1%	フルオロメロン点眼液 0.1%「センジュ」に変更

## 8) がん化学療法レジメン追加について

なし

## 9) その他

イベニティ皮下注 105mg シリンジ : 患者限定解除

ソル・コーテフ注射用 100mg 流通停止

## 10) 効能効果等の改訂のお知らせ (2024.9~2024.11)

レキササリ OD 錠 2mg	アルツハイマー型認知症に伴う焦燥感、易刺激性、興奮に起因する、過活動又は攻撃的言動に対する効能等追加
リツキサン点滴静注 100mg・500mg	難治性のネフローゼ症候群(ステロイド抵抗性を示す場合)に対する効能等追加 慢性特発性血小板減少性紫斑病に対する小児の用法等追加
ランダ注 10mg・50mg	子宮頸癌に対する用法等追加 局所進行子宮頸癌に対するキイトルーダと同時化学放射線療法(シスプラチン同時併用下での外部照射、及びその後の小線源治療)との併用療法の追加
レボレード錠 12.5mg	慢性特発性血小板減少性紫斑病に対する 1 歳以上の小児の用法等追加

## 11) 禁忌・併用禁忌・使用上の注意の改訂のお知らせ (2024.9~2024.11)

アスピリン原末	【特定の背景を有する患者に関する注意】妊婦の項:「妊娠中期の妊婦へのシクロオキシゲナーゼ阻害剤の使用により、胎児動脈管収縮が認められている旨」追記
インフリー、モービック	【重大な副作用】「心筋梗塞、脳血管障害」追記
ブルフェン、ハイベン、ナイキサン、ロピオン、ロキソプロフェン	【特定の背景を有する患者に関する注意】妊婦の項:「妊娠中期の妊婦へのシクロオキシゲナーゼ阻害剤の使用により、胎児動脈管収縮が認められている旨」追記

	【重大な副作用】「心筋梗塞、脳血管障害」追記
PL	【特定の背景を有する患者に関する注意】妊婦の項:「妊娠中期以降の妊婦へのシクロオキシゲナーゼ阻害剤の使用により、胎児動脈管収縮が認められており、妊娠後期はその発現リスクがより高くなる旨」追記
セレコキシブ	【特定の背景を有する患者に関する注意】妊婦の項:「妊娠中期の妊婦へのシクロオキシゲナーゼ阻害剤の使用により、胎児動脈管収縮が認められている旨」追記
パラミジン	【特定の背景を有する患者に関する注意】妊婦の項:「妊娠中期の妊婦へのシクロオキシゲナーゼ阻害剤の使用により、胎児動脈管収縮が認められている旨」追記 【重大な副作用】「心筋梗塞、脳血管障害」追記
カトレップ、ボルタレン(外皮用剤)、フルルバン、ロキソニン(外皮用剤)	【特定の背景を有する患者に関する注意】妊婦の項:「妊娠中期以降の妊婦へのシクロオキシゲナーゼ阻害剤の使用」により、胎児動脈管収縮が認められている旨に変更
インテバン(塗布剤)	【特定の背景を有する患者に関する注意】妊婦の項:「妊娠中期以降の妊婦へのシクロオキシゲナーゼ阻害剤の使用」により、胎児動脈管収縮が認められている旨に変更
モーラス(外皮用剤)	【特定の背景を有する患者に関する注意】妊婦の項:「妊娠中期の妊婦へのシクロオキシゲナーゼ阻害剤の使用により、胎児動脈管収縮が認められている旨」追記
MS 温シップ、MS 冷シップ、スチックゼノール A、セルタッチ、サリチル酸ワセリン、スピール膏	【特定の背景を有する患者に関する注意】妊婦の項:「妊娠中期以降の妊婦へのシクロオキシゲナーゼ阻害剤の使用により、胎児動脈管収縮が認められている旨」追記
ブイフェンド	【重要な基本的注意】【重大な副作用】「高カリウム血症」追記
ロトリガ	【重大な副作用】「心房細動、心房粗動」追記
エパデール、エパデール S	【重大な副作用】「心房細動、心房粗動」追記
リーマス	【重大な副作用】「薬剤性過敏症候群」追記

## 12)院内副作用報告 (2024.9~2024.11)

### 【当院処方事例のみ記載】

ボナロン 35 mg錠	脂汗・胃部不快感・背部痛
レボフロキサシン錠	発疹・掻痒感
タゾピペ注	全身紅斑
ロキソニン錠	顔面浮腫
柴苓湯	発熱・肝障害